

●交通局 予算編成方針

1. 経営計画に掲げる戦略プログラムを牽引するリーディングプロジェクトに積極的に取り組む。
2. 将来にわたって持続安定的に市電を運行するため経営形態の転換を進める。

1. リーディングプロジェクトの推進

経営計画に掲げるリーディングプロジェクトを通して、交通局の主要課題(輸送力不足、技術継承、老朽化等)解決に取り組む。

(1)市電に対する市民の愛着醸成や職員の士気向上

① 開業100周年記念事業関係費[総務課・運行管理課] **拡** 21,000千円

- ・開業100周年記念式典の開催
- ・機運醸成を図るための100日前・50日前イベント等の実施
- ・熊本市電の歴史を後世に残すための記念誌発行
- ・市電オリジナルグッズ・ノベルティの開発・販売
- ・新型多両編成車両の出発式・試乗会の実施



▲過去の式典の様子



▲記念誌の発行

(2)市電の輸送力強化 ～計画的な車両更新～

① 多両編成車両の導入事業[運行管理課] **継** 891,000千円

- ・現行定員1.5倍程度の多両編成車両2編成の導入



→令和6年中の運行開始を目指す

2. 上下分離方式の移行準備

R7年度からの上下分離方式の導入に必要な上物事業者(一般財団法人)を設立し、スムーズな移行に向けた準備を進める。

(1)市電の持続可能な経営と利便性向上

① 一般財団法人への出捐金[総務課] **新** 64,000千円

- ・上物法人で必要となるシステムの構築
- ・運賃の収入がない期間における人件費、経費等

3. 安全対策の強化

昨年度、連続してインシデントが発生した事を踏まえ、客観的かつ公正な検証及びその検証を踏まえた再発防止の提言をいただくため、外部検証委員会を設置。

⇒委員会での議論や提言を踏まえ、安全対策の強化に取り組む。